

ふじ着色系統の特性

福島県果樹試験場栽培部・平成10年度試験研究成績書

1 部門名 果樹—リンゴ—品種

分類コード 04—01—01000000

2 要 旨

県内各地から収集した着色系‘ふじ’43点(長ふ系10点、みしま系15点、県内生産者選抜系統など)について外観の評価、着色程度、果実品質等について調査した。

(1) 外観の評価は、果樹関係者52名により実施した。果実外観の色の明るさ、着色のタイプ、着色割合、色の濃さについて‘ふじ’として好ましいと思われるものを、各パネル第3位まで選び、第1位を3点、第2位を2点、第3位を1点として得点化し、各系統における合計得点を算出した。その結果、着色が優れる系統として2001年、ふじロイヤル、らくらくふじなどのみしま系ふじ5系統及び県内生産者選抜1系統が抽出された。これらの系統に比較して、福ふ1、長ふ2及び長ふ6及び普通系統は、得点が低かった。

(2) 抽出された6系統について糖度などの果実品質および食味を調査した結果、4系統については一部普通系統よりわずかに劣る傾向がみられ、調査項目すべてにおいて普通系統と同等以上であった系統として2001年(栽培地:福島市)の2系統が抽出された。これらは、2系のふじで縞が明瞭であった。また、光センサーの色カメラによる色度は226～230であり、普通系統の210と比較してかなり高かった。

以上のことから、2001年(栽培地:福島市)の2系統の外観及び品質が優良であった。しかし、これらの系統の食味は普通系統とほぼ同等であったことから、同一着色における食味を比較した場合、下級品では、普通系統より劣る場合もあると考えられるため、食味に留意した栽培管理を実施する必要がある。